

# よんすい 四水会について想うこと

赤 間 喜久男

平成一一年八月二七日、早塚守夫君が六七歳の若さで天国に旅立った。彼の人柄の良さのため、後日行われた偲ぶ会は五中・小石川のクラスメートをはじめ、富士電機関係者、趣味の演劇・オペラの同好の方々など二〇〇人を超える人を集め、世話人の片棒を担いだ小生にとっても、心の温まる思いがしてほっとしたものだ。彼の想い出についてはこの文集で詳細に述べてくれる方がいると思うので、ここではあえて触れないでおく。彼を冒頭に取上げたのは、タイトルになっっている四水会を語るのには彼について書かざるを得ないからである。

それは、およそ一〇年前にもなるが、永代機械工業(株)の宮本英樹社長が自社ビルを建て替えられた時に、同期の者が相集って話し合える場をつくる予定なので、手伝ってほしいと言い出され、我々は大いに期待しかつ大賛成したことがある。早塚・井上喜美雄の諸兄と共にビルの完成を心待ちにしていたが、平成三年二月二一日に竣工式を迎える運びとなり、その後関係者の努力で、やっと平成四年三月二五日に第一回会合を開催することが出来た。口で言うのは簡単だが、携わった人にとって

は大変な苦労があったと思っている。当初は「友の会」的な感覚だったが、開催日を毎月第四水曜日と決めれば間違いも少なからうと言うことと、また、我々の毎年続けている同期会の名称の「紫水会」に因んで「四水会」と名付けたわけである。

出席者は先ず出席の署名をし、宮本社長のご好意で大変安い金額で設定してもらった会費を納め、後は勝手に飲み食いし大いにしゃべり合うと言う他にはあまり例を見ない会合と言える。発足以来今日まで値上げ無しと言う、大多数が現役を退く年代になった我々は心から感謝している。

世話人として早塚幹事長、私が副幹事長、井上喜美雄先生は顧問的存在として、曲りなりにも無事にスタートを切る事が出来た。それ相当なPRもしなかつたので、初めのうちは出席者一〇人以内と言う少数精鋭?メンバ―であったが、飲み且つしゃべる大変雰囲気の良い集まりであったと言えよう。

初年度は夏八月だけお休みで十一月まで続けたが、年の瀬を迎えるに当たってどうするか問題になった。というのは、会合の度にお料理を作ってもてなして下さるのは、ほかでもない宮本式子夫人と、会社の秘書的存在の福田勝江さんであったからである。常に季節に合わせ手の込んだ美味しい料理を、手間暇かけて出してもらえるのは本当に嬉しく、今月は何だろうかと期待をして出席

する者も多かったと思う。しかし、一二月はどこでもいそがしく、宮本夫人たちのご苦勞を慰勞したいという氣持も強く、年末だけは永代ビルでの会合を取りやめ、別の場所でやろうと言うことになった。こういった配慮に氣を配ったのが亡くなった早塚その人だったのだ。

その時期、たまたま小生が「虎ノ門パストラル」に勤務していたので、パストラルで忘年会を開くこととし、一二月初旬から中旬までの間の皆さんが出来るだけ多く出席できる日を選び開催したが、この時の決め事は現在も続いている。

四水会は、その後順次参加者を増やし、一周年を迎える頃には二〇人を数えるようになった。たまには永代ビルサイドの都合でお休みをする月もあったし、第四水曜日が祝日にぶつかる場合には宮本夫人と相談のうえ、その前後にずらすなどして楽しい会合を続けてくることが出来た。しかし、平成七年六月に宮本家ご長男が急病のため、しばらくの間中止せざるを得なくなったが、忘年会だけはパストラルで継続したのである。

この永代ビルでの四水会中止の時期に、代わって登場したのがその後ずっと続いている「ぶらり一献の会」と称する歩く会だが、この会については誰かが書いてくれる筈になっているので、ここでは触れないことにする。

平成九年二月、宮本家のご子息を失う悲しい出来事があったが、それからわずか三ヶ月経過した平成九年五月

二八日に、四水会は二年ぶりに再開された。宮本ご夫妻には本当に頭の下がる思いで一杯である。この年より七・八月は四水会のお休みを決めた。このころから、参加者はそれぞれ好きなことに興ずるようになった。囲碁、麻雀、カラオケを勝手にやりながら、飲みかつ食べ、そしてこの年になると一番気になる健康相談をお互いにし合うなど、何度も言うように他に類を見ない素晴らしい集まりであると自画自賛している。一方、参加者はますます増えて、一度でも永代ビルの門を叩いた者の数は、延べ四百人を越える会に成長し、まだまだ新しい参加者が見込まれる状況にある。四水会が順調に発展できたのは、宮本ご夫妻をはじめ、永代機械工業(株)の皆様方のご理解・ご協力に負うところが極めて大きい。紙面を借りて厚くお礼申し上げますと共に、今後も宜しくお願い申し上げますことを付け加えたい。

なお、先般の早塚君の逝去に伴い、新幹事長に井上喜美雄先生を満場一致で推挙したので申し添えると同時に、幹事長を支えてこれからの四水会の運営に意を尽くして参るつもりなので、皆様方のご理解とご協力を期待している。

## ぶらり、一献の会

小野崎 順正

「四水会」のことについては別頁に紹介されていると思いますが、そこでのお喋りの中で、誰からともなく「俺達は東京やその近所に生まれ住んでいるのだが、名所・旧跡などについて、その実態はほとんど知らないのではないか」との声がでました。おたがいに仕事の第一線をしりぞき、それくらいの時間は出来るようになったのを機会に、年に数回いろいろなところを訪ね歩いてみようということになりました。健康のために三〇四時間歩くことを原則とし、終わってからの一献を行事に加えたのは当然のこと。飲みながら次回は何処にするかを決め、その土地に明るいひとに幹事をお願いし、あらかじめ数人で下見をする念の入れようで、これでは失敗のしようがなく、毎回大好評です。

第一回の一〇人ほどから始まって、最近では三〇人にならんとする勢い。とくに夫人と一緒にの人が増えたのが楽しい限りです。まだまだ続くはずですので、ぜひご参加ください。

いままでに歩いたところは次のとおりです。

回	開催日	訪問地	世話人
1	H7. 6. 22. (木) (1995)	花菖蒲満開の葛飾水元公園、旧江戸川小合溜水辺、柴又帝釈天。 鮎鯉鰻などで一献。	小野崎 赤間・宮本
2	H7. 9. 7. (木)	両国国技館、回向院など各自で見学のあと、江戸東京博物館団体見学。一献は両国橋「桔梗家」でどぜう鍋。	小寺 後藤・赤間
3	H7. 11. 8. (水)	谷根千(谷中、根津、千駄木)を歩く。朝倉彫塑館、観潮楼、根津神社、夢二館、一献は昔の木造三階建 串揚げ「はん亭」。	田口 岩本
4	H8. 1. 18. (木) (1996)	正月らしく隅田川七福神巡り、向島百花園等、隅田堤で桜餅、鐘ヶ淵から浅草へ、「神谷バー」で打上げ。	田口 赤間
5	H8. 3. 23. (土)	趣向を変えて、中山競馬場クリスタルコーナーで、飲んだり、食べたり、勝ったり負けたり。	赤間
6	H8. 6. 2. (日)	深大寺中心に、祇園寺、柏亭で深大寺蕎麦、薔薇満開の神代植物公園散策、一献は吉祥寺居酒屋「峠」。	井上喜 赤間・小野崎
7	H8. 10. 3. (木)	大船観音、常楽寺、鎌倉シネマワールド。一献は大船名席「観音食堂」和食。	波多野 宮本
8	H9. 1. 21. (火) (1997)	小江戸川越、時の鐘、蔵造資料館、地ビール、養寿院、東明寺、博物館、喜多院、五百羅漢、東照宮、一献は料亭「いちのや」。	間宮 星野
9	H9. 5. 21. (水)	異国情緒と飛躍の横浜。港の見える丘公園、中華街で昼食、山下公園、開港資料館、横浜美術館他。一献はキリンザビヤホール。	齋藤光 井上喜
10	H9. 10. 3. (金)	鎌倉。榎亭昼食、棟方板画美術館、極楽寺、長谷観音、鎌倉文学館、吉屋信子記念館、一献は鎌倉「わかみや」。	大石 宮本
11	H10. 5. 29. (金) (1998)	新緑の奥多摩御岳溪谷を散策、そば大和屋、玉堂美術館、寒山寺、清酒蔵元「小沢酒造」見学試飲、一献は河畔「ふる里」。	岩崎 小林一
12	H10. 11. 20. (金)	旧古河庭園及び園内大谷美術館、六義園、文京グリーンコート(理研跡地)、小石川高校校内見学、一献は「千石会館」中華。	田口・岩本 齋藤繁
13	H11. 3. 18. (木) (1999)	富岡八幡宮の恵比寿を始めとする深川七福神、清澄庭園、芭蕉記念館、都現代美術館他、一献は高橋「伊せ喜」でどぜう鍋。	後藤康 宮本・赤間
14	H11. 6. 11. (金)	チンチン電車都電荒川線、一葉記念館、回向院、浄閑寺、飛鳥山公園、鬼子母神他。一献は池袋「高松」。	宮本 小林秀
15	H11. 11. 12. (金)	ゆりかもめ(モノレール)で臨海副都心探求、ビックサイト、パレットタウン、共同溝見学、一献は「臨海楼」台湾料理。	小野 吉葉
16	H12. 1. 19. (水) (2000)	本郷地区初詣、湯島聖堂、神田明神、湯島天神、旧岩崎邸見学、一献は「伊豆榮本店」。	田口・岩本 齋藤繁
17	H12. 4. 27. (木)	芝離宮恩賜庭園、芝増上寺、東京タワー、愛宕神社、NHK放送博物館見学、一献は新橋「ジョン万次郎」。	岩崎 齋藤滋
18	H12. 8. 2. (水)	柳橋「あみ春」の屋形船で隅田川から東京湾を“ゆらり”カラオケと天麩羅で一献。	井上喜 小野崎・小寺
	H12. 8. 12. (土)	東京湾大華火祭を東京鉄鋼埠頭から鑑賞。	小野
19	H13. 1. 25. (木) (2001)	成田山新勝寺参詣、国立民族歴史博物館(佐倉城跡内)見学、一献は「菖蒲荘」。	赤間 小野崎
20	H13. 5. 18. (金)	玉川上水べり散策、小金井公園「江戸東京たてもの園」見学、一献は吉祥寺「聘珍楼」。	木南 小野
	H13. 8. 11. (土)	東京湾大華火祭を東京鉄鋼埠頭から鑑賞。	小野
21	H13. 11. 1. (木)	金沢八景散策、称名寺、境内「ふみくら茶屋」にて昼食、金沢文庫、野島公園、一献は「相生」。	黒川篤 鹿庭



回	開催日	訪問地	世話人
22	H14. 1. 10. (木) (2002)	目黒・白金・恵比寿散策。サレジオ教会、円融寺、目黒不動尊、東京都庭園美術館、都写真美術館、一献は恵比寿ガーデンプレイス「ライオンビヤレストラン」。	小林三 小寺 中村
23	H14. 4. 4. (木)	鎌倉五山散策、浄妙寺、十二所神社、荏柄天神、頼朝の墓、寿福寺、亀ヶ谷切り通し、建長寺、浄智寺、東慶寺、円覚寺、一献は塔頭「白雲庵」の座敷を拝借。	大石 黒川篤
24	H14. 8. 10. (土)	東京湾大華火祭を東京鉄鋼埠頭から鑑賞。	小野
25	H14. 11. 1. (金)	小石川界限散策、白山神社、小石川植物園、同心町校舎跡、伝通院ほか、東京ドーム見学ツアー・野球体育博物館見学、一献は文京シビックセンター「スカイレストラン椿山荘」。	城座 齋藤繁
26	H14. 11. 4. (月)	横須賀イージス艦「きりしま」、三笠公園記念艦「三笠」見学、旧海軍ゆかりの料亭「小松」で遺墨を觀賞しながら一献。	大石 小林三
27	H15. 1. 14. (火) (2003)	亀戸七福神巡り、香取神社、亀戸天神ほか参詣。一献はちゃんこ「江戸波」。	岡 齋藤繁
28	H15. 5. 14. (水)	新緑の中、武蔵野の風情を楽しむ府中界限散策。東京競馬場博物館・サントリービール工場・府中市郷土の森博物館見学、大國魂神社参拝。一献は和食「たか田」。	梶田 岡
	H15. 8. 10. (日)	東京湾大華火祭を東京鉄鋼埠頭から鑑賞。	小野
29	H15. 10. 16. (木)	汐留シオサイト(旧新橋停車場・鉄道歴史展示室他)見学、浜離宮庭園散策後水上バスで隅田川をさかのぼり、秋の観光祭でにぎわう浅草へ。一献は「駒形どぜう」。	久保田 岡
30	H16. 1. 14. (水) (2004)	東海七福神巡り、磐井神社ほか参詣。江戸時代創業の蕎麦屋「吉田家」で昼食、原美術館見学、一献は「大富鮎」。	黒川篤 岡
31	H16. 5. 20. (木)	江戸と平成の丸の内散策、宮内庁職員の案内による皇居参観、東御苑散策、一献は新築された丸ビル6階「旬菜美酒ななは」。	間宮 岡
32	H16. 10. 26. (火)	江の島ひと巡り、龍口寺に集合、昼食は腰越の蕎麦「かきや」。弁天橋を渡り、エスカーを乗り継ぎ、サミエル、コーキング苑展望灯台へ。江島神社参拝、岩屋見学。一献は磯料理「仙水」。	黒田 黒川篤
33	H17. 1. 13. (木) (2005)	谷中七福神巡り、田端から谷中、日暮里、上野公園界限散策、一献は「水月ホテル鷗外荘」。	兼坂 岡
34	H17. 5. 24. (火)	月島・佃・明石町・築地界限散策。新開発地の高層ビル群の中に江戸の香もちらり。昼はもんじゃ焼き、一献は築地「江戸銀」。	宮本 岡

作成 齋藤繁雄

35	H17. 10. 25 (火)	旧向ヶ丘遊園のバラ園、生田緑地内の日本民家園、岡本太郎美術館、折形山展望台など散策、夜(あふり)で	小林三、 岡
----	-----------------	---------------------------------------------------	-----------